# URにおける発注方式に係る取組み

平成26年4月 UR都市機構

#### 1 設計・施工一括発注方式

概要:発注者の示す設計条件(参考図含む)に基づく設計 図書作成業務と当該設計図書に基づく工事施工を 一括して発注する方式

効果:受注者のノウハウを活用し、受注者の得意とする工法で設計や工事を行う(PC工法等)ことができ、安定的な資材・職人の手配や工期遅延リスクの低減が図れる。

課題:設計者がいない建設業者の参入の妨げとなる。

⇒対策:外部設計者を申込者の一員とすることが可能。

手続きの概念的なフロー図



## 2-1 設計・施工一括発注方式(総合評価方式)

概要:実施設計+工事

評価:実績(企業、技術者)

十地域貢献十価格

事例:女川町民陸上競技場跡地地区

#### 【受注者の提案でPC工法で共同住宅を整備】





	女川町民陸上競技場跡地地区災害公営住宅建設工事 評価項目・評価基準								
		評価	評価基準	評価ウエイト					
	企業の技術力	同種工事の施工実績 <過去 10 年間 > ※ 1	施工数量※3	5件以上	2				
				$2\sim4$ 件	1				
			施工場所※2	女川市、石巻市	2				
				宮城県	1				
		UR、国、当該県による同種工事に係る優秀工 事施工業者表彰<過去10年間>※1※2		2回以上	2	10			
				1 💷	1	10			
•		設計実績 <過去5年間>※1※2		2棟以上	2				
				1 棟	1				
		IS09001 の取得※ 2	取得済み	1					
		IS014001またはエコア	クション 21 の取得※ 2	取得済み	1				
	配置技術者	同種工事の施工実績 <過去 10 年間 > ※ 1	施工数量	3件以上	2	6			
				2 件	1				
			施工場所	女川市、石巻市	2				
				宮城県	1				
		UR、国、当該県による同種工事に係る優秀工事施工業者表彰<過去 10年間>※1※2		2回以上	2				
				1 🖪	1				
	施工計画・地域貢献	地元企業の活用 (申請者の建設業法上の宮城県内の所在地) ※2		本店	5				
				支店・営業所	3				
		東日本大震災での対応実績 (対応実績の施工場所)※2		女川町	5	14			
				石巻市	3				
				宮城県	1	14			
		同程度の工期の施工実績 (同種工事の 10ヶ月相当以下の施工実績) <過去 10年間>※1※2		3件以上	4				
				2件	2				
				1 件	1				
						30			

#### 2-2 設計・施工一括発注方式(企画競争方式)

概要:基本・実施設計+工事

評価:実績(企業、技術者)

十地域貢献

十提案

(実施方針、設計提案)

事例: 東松島市東矢本駅北地区

「東松島市東矢本駅北地区災害公営住宅(第1住宅・第2住宅)建設丁事」 評価項目・評価基準

果松島巾東大本駅北地区災害公宮住宅(第1住宅・第2住宅)建設上事」 評価項目・評価基準									
	評価項目 評価基準					評価 ウエイト			
	同種工事※1 の施工実績 (企業)	①施工数量※6 <過去5年間※3のうち1年※5>	2×A戸以上	5点	5	2 0			
			A戸以上	3点					
		②施工場所※7 <過去10年間> (東松島市及び近隣市町※4での施工)	1/2×A戸以上	5点	5				
実績			1戸以上	3点					
績	③同種工事の施	三工数量(技術者)※8	1/2×A戸以上	5点	5				
	<過去5年間>		2 戸以上	3点	ъ				
	④同種建物※2の設計数量(企業)※7 <過去5年間>		1/2×A戸以上	5点	- 5				
			2戸以上	3点					
実施	⑤業務理解度		10点		2 0				
方針	⑥実行性・工程計画		10点						
抽	⑦地元企業の 活用(申請者 の建設業法上 の本店所在地) ※7	東松島市		10点					
地域貢献		近隣市町	5点		1 0				
MA		宮城県		3点					
設計	⑧設計提案1	地域の風土・周辺環境・町並み形成の配 慮	10点		2 0				
提案	⑨設計提案 2	コスト縮減等に係る提案	10点						
コスト	⑩参考見積 調査基準価格 (概算額の 85%) を満点とする。 (200×(1 ─見積額/概算額))				3 0				
						0 0			

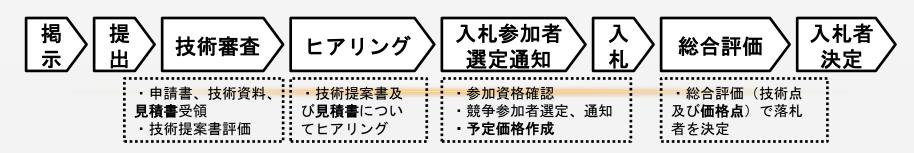
#### 3 見積もりの提出を求め活用する方式

背景:発注者・応札者が工事価格を作成する段階での単価 設定の把握の仕方に差異が発生。⇒入札不調の原因。

概要:入札参加者に入札の前の段階で見積もりの提出を 求め、妥当性の確認できた単価等をURの予定価格 に採用する。

効果:発注者は、より実勢に近い予定価格の作成ができ、 入札不調のリスクを低減。

手続きの概念的なフロー図



### 4 発注情報等の公開について

URL http://www.ur-net.go.jp/order/



#### ■問合せ先

(発注方式について)

UR都市機構 技術・コスト管理部企画チーム 045-650-0649 担当:田所・中村

(事業全般について)

UR都市機構 震災復興支援室事業チーム 045-650-0879 担当:船渡川・高畑